

<最終目標> 歴史的思考力を育て、過去との対話を通じて未来を創る主体性を身につける

1	今年度の達成目標	史料読解能力と歴史的思考力を身につける 進研模試 55 以上	担当 教師
2	地理歴史科の指導戦略 <授業の指導戦略> (1) 思考する学習の展開・・・ (2) 史料読解力の育成・・・ (3) 事実に基づく歴史観の形成 (4) 学び合いの重視・・・ <授業外の指導戦略> (1)進研模試・・・ (2)河合模試・・・	「覚える」のではなく「考える」活動を重視した授業を展開します。 多くの史料を読むことで、事実に即した思考力を身につけます。 事実に即し、論理的な意見を組み立て発信する力を育てます。 生徒同士の学び合いを重視した授業を展開します。 年5回実施されます。 年4回実施されます。	
3	指導教科書	世界史 B（東京書籍）	
4	補助教材	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店） そのまま出る世界史の一問一答（三省堂） はじめる世界史（Z会出版）	
5	評価・評定の方法	(1) 日頃の観察や小テストなどで「15点/15%換算」します。 (2) 定期考査で「100点満点/85%換算」します。 (3)評価の観点（4項目） * 社会的事象への関心・意欲・態度 * 社会的な思考・判断・表現 * 資料活用の技能 * 社会的事象についての知識・理解	

<<生徒諸君へ>>

- (1) 「家庭学習」・・・宿題、復習を必ず行い、ノートを毎日提出させてください。
- (2) 「持ち物」・・・教科書、ノート、資料集、ファイル、辞書（電子辞書可）を持参させてください。

地理歴史科指導計画

	教科行事	世界史特講	内容	達成目標(Can-Do)
4月		第15章 欧米における工業化と国民国家の形成	世界各地が政治的・経済的・文化的につながっていく歴史的過程を理解する。	○3つの市民革命の原因や過程について説明できる。 ○フランス革命がヨーロッパの国際秩序に与えた影響について説明できる。
5月	中間考査	第15章 欧米における工業化と国民国家の形成 第16章 産業資本主義の発展と帝国主義	19世紀後半の欧米世界の再編がどのようにして行われたかを理解する。	○イタリアとドイツの統一を中心に、ヨーロッパで起きたナショナリズム運動について、その特徴を説明できる。 ○各国の帝国主義政策の特徴を説明できる。
6月		第16章 産業資本主義の発展と帝国主義 第17章 アジア諸地域の変革運動	19世紀後半の欧米世界の再編が帝国主義的拡大＝アジア・アフリカの植民地化につながったこと、その中でアジア・アフリカ各地ではどのような対応がとられたのかを理解する。	○欧米諸国の帝国主義政策に対して、その植民地となっていくアジア・アフリカ諸国でとられた対応について説明できる。
7月	期末考査 夏季講習Ⅰ	第17章 アジア諸地域の変革運動	19世紀後半の欧米世界の再編が帝国主義的拡大に対して、アジア・アフリカ各地ではどのような対応がとられたのかを理解する。	○明治維新後の日本の対外政策が、東アジアの伝統的な朝貢体制を崩すものであったことを、歴史的に説明できる。
8月	夏季講習Ⅱ			
9月		第18章 世界戦争の時代	第一次世界大戦が世界各地にどのような影響を与えたのかを理解し、世界戦争が再発してしまう要因について考える。	○第一次世界大戦の背景や経過などについて説明できる。 ○戦間期の学習を通して、世界戦争の再発を防げなかった要因について説明できる。
10月	中間考査	第18章 世界戦争の時代	第一次世界大戦が世界各地にどのような影響を与えたのかを理解し、世界戦争が再発してしまう要因について考える。	○世界恐慌の発生がなぜ第二次世界大戦をもたらしたのか説明できる。
11月		第19章 国民国家体制と東西の対立 終章 経済のグローバル化と新たな地域秩序	戦後世界の国際関係を、多角的に理解していき、世界戦争は起こらなくても地域紛争が起こる要因を考える。	○冷戦が世界に与えた影響について説明できる。
12月	期末考査	終章 経済のグローバル化と新たな地域秩序	戦後世界の国際関係を、多角的に理解していき、世界戦争は起こらなくても地域紛争が起こる要因を考える。	○グローバル化について自分の意見を説明できる。
1月				
2月				
3月				